2004年2月25日

各位

メディシノバ社　切迫早産の化合物（フェーズ２）をキッセイ薬品より導入。

２００４年　２　月　２５　日　米国　サンディエゴ発　？　メディシノバ社（米国　サンディエゴ、代表取締役社長：清泉貴志 ）　は日本のキッセイ薬品工業より切迫早産治療薬の可能性のある化合物をライセンス導入 しました。 この化合物は KUR-1246 と称され現在フェーズ２実施中で すが 、ライセンス導入後 MN-221 として弊社製品パイプラインに加えられます。

本ラインセンス契約において、弊社は MN-221 の日本を除く全世界の独占的開発、販売権を取得し、契約一時金、目標達成報奨金、 ロイヤリティー料 をキッセイ薬品に支払います。

MN-221 はβ 2 アドレナリン受容体の選択的刺激を介して子宮筋の弛緩を促します。

米国国立衛生研究所によれば米国では年間 約 薬 46 万人件の未熟児が報告されてい ます。 2003 年 には 約８人に１人の割合で未熟児が誕生しており、女性にとって妊娠における最も重要な課題となって おり 未熟児の年間発生率は 1981 年と比較して27% 増加しています。

以上